

しみん基金・K O B E

NEWS



Vol.48

2019年7月号

特集

もつたいたい系寄付の

ススメ

vol.2

CONTENTS

特集 もつたいたい系寄付のススメvol.2

あじさい基金よりご寄付いただきました。

2019年度定時総会報告

2019年度はあ〜とふるふあんど支援団体発表
／理事就任あいさつ

表紙の人 山崎速嗣氏((一社)ウルノス理事長)

中間支援同志の
協働体制で

もつたない系寄付ノススメ

vol.2

MOTTAINAI

MOTTAINAI

MOTTAINAI

MOTTAINAI

退職品をリユースに

断捨離やミニマリスト、シンプレライフなどの言葉をよく耳にするようになりました。よく耳にするのは逆に、憧れはあってもなかなか実現が難しいことだからなのかもしれません。1年以上使っていないこれから先も、使う予定は特にない、とわかっているにもかかわらず、躊躇して再度仕舞い込む。そういうものを「退職品」というそうです。日本語には「もつたない」という言葉があります。まだ使えるものを捨てるのはもつたないですが、退職してしまうことも同じくもつたないことなのです。捨てたり、退職したりするのはなく、リユースしてはいかかでしょうか。

環境省はリユースのメリットとして、「新たに採掘する天然資源や生産にかか

るエネルギーを減らすことができる「製品の廃棄・製造にかかる二酸化炭素の削減につながる」などを上げています。そしてリユースにもいろいろな方法がありますが同じ手放すなら、誰かの、何かの役に立てる、チャリティに寄付していただければいいですね。



当基金は、一般社団法人ウルノスさんが実施するモノキフに参加しています。モノキフは、ご寄付いただいたものをインターネットオークションに代理出品し、その販売代金から事前に選んだ寄付率で

当基金や他の団体など、寄付者が事前選んだ団体に寄付ができる仕組みです。この仕組みの一番の特徴はインターネットオークションを使うことです。リユースの一般的な方法は、リサイクルショップを使うことですが、それに抵抗のある方もおられます。その理由としては、商品の品質に信頼が置けないということの次に、値段の付け方に信頼が置けないという理由があるそうです。モノキフでは後者の理由への解決策として、購入者が自分で値段を決められるオークションを使い、透明性を高めた仕組みとなっています。

コレクティブな協働をめざして

モノキフを運営するウルノスさんは非営利型の一般社団法人です。その理事長である山崎速嗣さんは質屋の店舗やネットでの販売を20年以上されてきました。もともと大学では公害や環境経済論を学んでいた山崎さんでしたが、3年前、退社して起業を志した際、コワーキングスペースを運営していた経営者や、神戸スタートアップオフィス(ベンチャー企業支援プログラム)でメンターとして指導された起業支援家との出会いが、当初考えていた一般的な起業からソーシャルな起業へ方向転換する契機となりました。環境の負荷を減らすリユース業というだけではなく、そのリユース品を寄付として、さまざまな団体を支援することができるモノキフの形を思いつき、モノキフで、寄付することのハードルを下げたいと言われています。

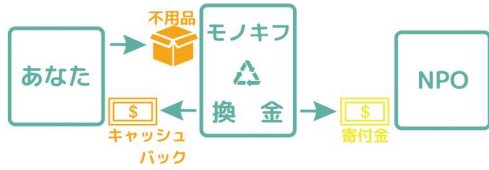
当基金はいろいろな企業と協働するなどwinwinの仕組みづくりを模索しています。当基金と同じ中間支援との協働体制での寄付集めは初めての試みです。

モノキフ

物をお金に換えて
寄付するしくみ

リユースついでに寄付
そんな社会貢献あります

モノキフはかんたん



不用品を
送るだけ
あとは待つだけ

モノキフはえらべる

手数料：当社23%、ヤフオク7%（2019年現在）

<寄付額>	モノキフ	ヤフオク	手数料
10%	寄付金	キャッシュバック	手数料
50%	寄付金	キャッシュバック	
100%	寄付金		

換金の総額

10、50%
寄付選ぶと
キャッシュバック

モノキフできるもの



あくまでも
一例です。
お気軽に
お問合せ
下さい

詳しくはWEBへ

モノキフ

<モノキフ運営元>
非営利徹底型一般社団法人 ウルノス
〒662-0015 兵庫県西宮市甲陽園本庄町6-50-1055
<https://monokifu.com/>
0798-74-0387

20世紀は「経済は経済、社会は社会、ビジネスと地域活動は別、環境は環境と分けて考えることで、専門性を高め、効率化を進めてきました。その結果、これまでの経済社会から取りこぼされたのが、現在の社会問題です。」（ソーシャル・プロジェクトを成功に導く12ステップ「2018」）
2015年の国連総会でSDGs（持続可能な開発の目標）が合意されました。これにより、企業、自治体、NPOなど多様な社会の担い手が、「国もセクターも分野も超えた共通目標としてのSDGsがあることで、これまで別々に行われた問題を関連付け（統合的）、問題や課題の原因や関係を捉え直し（批判的）、グローバルな文脈・ローカルな文脈で意味づけな

がら（文脈的）、関わる個人・組織・社会の変容を促す（変容的）ことが可能になります。」（前述）
SDGsのもと、新しい社会的価値の創造に取り組みたいという山崎さんも単独ではなく、当基金や他のNPOと共に取り組むことで、取り組みのバイを拡げることが可能になります。一方「モノキフをエンジンとして使いながら各団体がSDGs達成に向けて活動してほしいことも言われています。最近では、よろづ助太刀屋と名付けた新しい事業で、いろいろなNPOの手伝いをしながら次の一手を模索中だそうです。」

さまざまな寄付の形づくりに取り組んできた当基金の軸となる寄付の仕組みになるよう、みなさまのご協力をお願いいたします。

あじさい基金より ご寄付いただきました。

あじさい基金（しみん基金・KOBÉ）を支える会は、2003年1月に行われた「NPO体験研修」に参加した神戸市職員が、派遣された「阪神高齢者・障害者支援ネットワーク」の当時の黒田裕子理事長より、活動費不足に悩む市民活動を財政的に支援する仕組みを考えてほしいと依頼され、研修報告会の際に設立を提案し、有志が呼びかけ2002年8月に設立されました。神戸市職員が毎月給与からの引き落としで会費（1口200円）を積み立て、当基金に寄付することにより、当基金公開審査会を通じて、市民活動団体を応援する仕組みです。

5月15日（水）に6回目となるご寄付をいただき、当基金事務所にて、代表世話人の古川雅基さんから戎理事長に30万円が手渡されました。一方、これまでの長年の取り組みに対して当基金から感謝状をお渡しいたしました。

あじさい基金は設立から丸16年となりました。設立の中心メンバーをはじめ多くの会員が定年退職となり、会員が減少しているのが現状です。あじさい基金は、当基金を通じて一つでも多くの団体へ助成ができるよう当基金に託していただける職員を募集しています。ご協力よろしくお願いたします。



2019年度定期総会報告

5月28日18時より定期総会を実施し、以下の議題について審議を行い、承認されましたのでご報告いたします。

平成30年度事業報告並びに決算報告(抜粋)

1 助成事業

■助成事業では、8つの団体に2百45万円を助成呈いたしました。

■昨年度新設した黒田裕子賞は、第二回贈呈式を公開審査会と同日に実施し、酒井明子さんに贈呈いたしました。

2 寄附・募金活動

■寄附・募金では、3百36万6千2百95円を託していただきました。

【経常収益】		7,599,659
受取会費	616,000	
受取寄附金	3,366,295	
受取助成金	1,940,000	
事業収益	1,621,137	
その他収益	30,327	
【経常費用】		8,140,247
事業費		
人件費	3,024,817	
その他経費	4,373,559	
管理費		
人件費	533,791	
その他経費	208,080	
当期経常増減額		△540,588
【経常外収益】		933
当期正味財産増減額		△539,655
前期繰越正味財産		23,736,407
次期繰越正味財産額		23,196,752

平成29年度収支決算概要

■(株)フルハウスのご協力により、耐震補強工事で使用する耐震補強金具「パワープレート」を寄附つき商品第3弾としていただきました。

■2つの寄附集めイベントを実施しました。

A)チャリティ・パーティ「第3回寄附が

つなげるひと育てるまち〜Tanimatching〜

(ひょうごボランティアプラザ助成事業)

B)こうべあいウオーク2019

■(二社)ウルノスとの提携によりネットオークションによる物品寄付「モノでキフ」を開始しました。

3 その他中間支援事業

■昨年に続き神戸市との協働協定を締結し、市民活動応援サイト「つなごう神戸」の管理運営を継続しました。

■ハンスオン型NPOマネジメント支援講座を継続して実施しました。(ひょうごボランティアプラザ助成事業)

■はあくどふるふぁんど支援事業を受託しました。第3回チャリティ×防災啓発イベント「ローリングストックinひょうご」は、(株)神戸新聞事業社との実行委員会形式で実施いたしました。

2019年度事業計画並びに予算(抜粋)

1 助成事業

■助成事業を例年通り実施いたします。

2 寄附・募金活動

■寄附つき商品や現物寄付を継続いたします。
■震災25年企画共助を支える資金の流れを考えるシンポジウムを開催いたします。

3 その他中間支援事業

■「つなごう神戸」を継続して管理運営いたします。
■ハンスオン型NPOマネジメント支援講座を実施します。

■チャリティ×防災啓発「ローリングストックつなごう」を、引き続き(株)神戸新聞事業社との実行委員会形式で開催いたします。
■はあくどふるふぁんど支援事業を継続して実施いたします。
■アドバイザー派遣事業がふれあいのまちづくり協議会向けに変更となりましたが引き続き参画します。

役員一部交代について

■退任 岡田卓巳氏

■新任 伴智代氏 濱西敏郎氏

■基本財産の取り崩しについて
■昨年度も取り崩しはありませんでしたが、25年度から継続承認いただいております。今年度も念のため承認いただきました。

【経常収益】		9,727,440
受取会費	840,000	
受取寄附金	3,977,440	
受取助成金	3,000,000	
事業収益	1,880,000	
その他の収益	30,000	
【経常費用】		9,727,440
事業費		
人件費	2,965,400	
その他の経費	5,907,496	
管理費		
人件費	543,600	
その他の経費	195,944	
経常収支差額		0

平成30年度収支予算概要

はあ〜とふるふあんど

兵遊協・ハート玉福祉支援事業

はあ〜とふるふあんど
2019年度
支援先決定



はあ〜とふるふあんど委員会
(兵庫県遊技業協同組合と神戸新聞グループで構成)からの受託により実施している、はあ〜とふるふあんどボランティアあしすと部門で、今年度は66件の応募がありました。
審査の結果、18の団体に支援が決定し、6月14日(金)に贈呈式が行われました。
支援対象団体／事業名は以下の通りです。

- 1 三田市商工会青年部／ハロウィンフェスティバル2019
ハロウィン・クリーン大作戦
- 2 八千代交流広場推進協議会／多世代交流事業
- 3 K O B E 高校生ボランティアサミット実行委員会／第2回K O B E 高校生ボランティアサミット
神戸・灘おもちゃの病院
- 4 神戸・灘おもちゃの病院
- 5 (一社)デフサポートかもめ／ARを活用した手話動画・神戸案内ガイド作成事業
- 6 (特活)須磨ユニバーサルビーチプロジェクト
須磨ユニバーサルビーチプロジェクト

- 7 がん患者グループ「ゆずりは」／がん患者・家族・遺族サポートと市民と共に生き方を考える場の提供
- 8 みんなあつまれ！実行委員会／余暇活動サポート事業
- 9 S A N D A ドリームサッカー
- 10 (特活)禁煙推進の会兵庫さんだ／子ども達を守る・喫煙防止・薬物撲滅プロジェクト
- 11 (特活)明石ともしび会家族会／東播磨・淡路地区精神保健福祉研修会
- 12 (特活)H o m i k a ／保育フェス2019
- 13 ひょうご多胎ネット／多胎ファミリールーム教室
多胎児を安心して産み育てるために
- 14 兵庫県慶尚南道道民会／国際地域協力活動 植樹事業
- 15 兵庫慶南会女性部／慰問事業(コーラス)
- 16 (特活)つくしとすぎなの会／ありがとうコンサート
- 17 (公財)兵庫県障害者スポーツ協会／夢プロジェクト「パラスポーツワールド2019 ひょうご」
- 18 須磨区更生保護女性会／社会を明るくする運動関連グッズ(ストラップ)作成
更生保護施設におけるディナーサービス

新任のご挨拶

伴智代(生活協同組合コープこうべ)



はじめまして。
この度第21期の総会にてしみん基金・こうべの理事に就任させて頂きました。コープこうべ理事の伴智代(ばんちよ)と申します。

実はしみん基金こうべについては、今回理事を引き受ける前から黒田裕子さんから様々お話は聞かせて頂いておりました。黒田さんとは、ひょうごがん患者連絡会を立ち上げる時に一緒にさせて頂いて、黒田さんの様々な活動への思いの強さに圧倒されておりました。黒田さんは、このしみん基金・こうべについても阪神淡路大震災以来折角芽吹いた草の根の、地道で誠実な活動しているボランティア団体を行政でもなく、企業でもなく、同じしみんの目線で支援をしていきたい。そうすることでより自由で現実に即したボランティア活動が育つとおっしゃっていました。だから、しみん基金・こうべの役割は大きく、しっかりと運営していかないとけないと熱く語っておられたのを思い出します。そのしみん基金・こうべに私が関わらせて頂くことになったのも何かの縁のようなものを感じております。かと言って私に何が出来るかと言われれば何の役にもたてないのではないかと不安は募るばかりですが、黒田さんの繋いで下さった縁を大切にみなさんと一緒に活動させて頂きたいと思っております。何卒よろしくお願いいたします。

「しみん基金・こうべ」の運営を支えて下さる賛助会員と寄付を募集しています。

個人会員 年間3千円
 団体会員 年間1万円

お申し込みは電話・ファクス・メールなどで、ご連絡いただるか、ホームページをご参照ください。

★振込口座

三井住友銀行三宮支店 普通 8840183
 近畿労働金庫神戸支店 普通 4161854
 郵便振替 00990-5-157334

口座名義 「特定非営利活動法人しみん基金・こうべ」



当基金は認定NPO法人格のため、当基金へのご寄付並びに、賛助会費は・・・



個人では、寄付控除を受けられません。税の優遇措置を受けるには、確定申告をしていたら、その際当基金が発行する寄附金受領証明書(＝領収書)を添付して税務署にご申告をお願いします。

「小口寄付にも効果のある「税額控除」高所得者がお得な「所得控除」

どちらかお選びいただいてご申告いただけます。



法人では損金算入限度額が増え、一般のNPO法人への寄付と比較して経費にできる寄付額の限度額が大きくなります。



相続人は、相続財産のうち寄付した額が非課税になります。

会員数とご寄付のご報告

◆正会員 個人31名 団体2団体
 ◆賛助会員 個人41名 団体15団体
 (2019年5月末現在)

◆寄付・募金合計金額 64万5千3百91円

◆寄付者・募金一覧(敬称略・順不同)

中島秀男、飛田雄一、村井雅清、江口聰、西山志保里、石田祐、鈴木直行、加藤和彦、山田昌和、西山明子、定森由紀子、北野智、伊原本真由美、山中泰能、大崎育代、門脇愛、古川雅基、久保田綾子、高木雅章、中嶋知之、中村佳陽子、高橋秀典、山本博史、猪本郁、西村勇二、小林雅子、ヤフォー(株)、有ボック、ブックオフコーポレーション(株)、(株)フルハウス、(株)フルハウス技研、(株)フルハウス技研関西、芦屋西宮市民法律事務所、オレンジスリフティ、(株)夢舞台ウエスティンホテル淡路
 (2019年2月～5月)

※皆様方からの貴重なご厚志に深謝申し上げます。



※ご寄付、会費納入は、クレジット決済もご利用頂けますのでご利用ください。
 当基金ホームページの「クレジットサポーター」からアクセスできます！

当基金口座が悪用された可能性があり、ご迷惑をおかけしました。当基金がお預かりしたご寄付は被害を受けておりませんのでご安心ください。大金が当たるような文面のメールは、当基金とは一切関係ございませんので、決してお振込されることのないよう、くれぐれもお願いたします。(と)

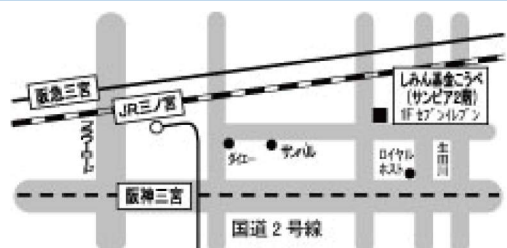
認定NPO 法人しみん基金・KOBENews

〒651-0095 神戸市中央区旭通1-1-1-203 (サンピア2F)

TEL 078-230-9774 FAX 078-230-9786

e-mail kikin@stylebuilt.co.jp

URL http://www.stylebuilt.co.jp/kikin/



※セブンイレブンの北隣の階を上がって2階右手の通路すぐ